

## 1. 掛け算の新しいルール「内積」

ベクトルの足し算・引き算は「矢印の継ぎ足し」だったが、掛け算はどう定義すればよいだろうか？

物理学における「仕事（力 × 移動距離）」の考え方を導入し、ベクトル同士の積を定義する。

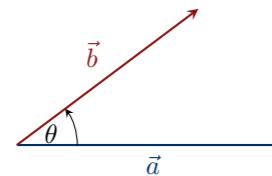
## 内積の定義 (Inner Product)

$\vec{a}, \vec{b}$  のなす角を  $\theta$  ( $0^\circ \leq \theta \leq 180^\circ$ ) とするとき、

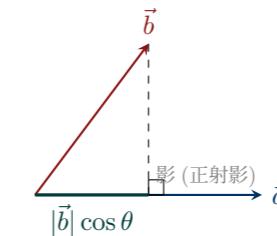
$$\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta$$

と定義する。 $(\vec{a} = \vec{0}$  または  $\vec{b} = \vec{0}$  のときは 0 と定める)

最大の注意点：計算結果はベクトル（矢印）ではなく、スカラー（単なる数値）になる。



ポイント：  
必ず始点を揃えて  
角度を測る。



## 重要な値

- $\theta = 0^\circ$  (同じ向き):  $\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}|$  (最大)
- $\theta = 90^\circ$  (垂直):  $\vec{a} \cdot \vec{b} = 0$  ※超重要
- $\theta = 180^\circ$  (逆向き):  $\vec{a} \cdot \vec{b} = -|\vec{a}| |\vec{b}|$  (最小)

## 例題 1 (基本計算)

$|\vec{a}| = 3, |\vec{b}| = 4$  で、なす角  $\theta$  が以下のとき、内積  $\vec{a} \cdot \vec{b}$  を求めよ。

- (1)  $\theta = 60^\circ$
- (2)  $\theta = 135^\circ$

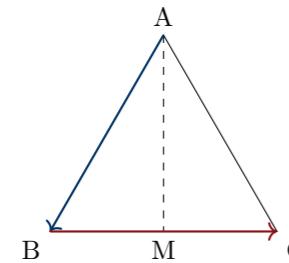
## 3. 図形問題での注意点

多角形の中で内積を考えるとき、ベクトルの始点が揃っていない場合がある。必ず始点を揃えるように平行移動してから角度を読み取ること。

## 例題 2 (正三角形の内積)

1 辺の長さが 2 の正三角形 ABC について、次の内積を求めよ。

- (1)  $\vec{AB} \cdot \vec{AC}$
- (2)  $\vec{AB} \cdot \vec{BC}$  (始点に注意!)
- (3)  $\vec{AB} \cdot \vec{AM}$  (M は辺 BC の中点)



## 例題 3 (成分計算への布石)

直角二等辺三角形 ABC ( $C = 90^\circ$ ,  $AC = BC = 1$ ) において、 $\vec{AB} \cdot \vec{AC}$  を求めよ。

## 確認テスト (A: 基本)

## 練習 A1 (計算)

次のベクトル  $\vec{a}, \vec{b}$  の内積を求めよ.

- (1)  $|\vec{a}| = 5, |\vec{b}| = 2$ , なす角  $60^\circ$
- (2)  $|\vec{a}| = 4, |\vec{b}| = 3$ , なす角  $150^\circ$
- (3)  $|\vec{a}| = 2, |\vec{b}| = 5$ ,  $\vec{a} \perp \vec{b}$

Memo / Answer

## 練習 A2 (大きさの計算)

$|\vec{a}| = 2, |\vec{b}| = 3, \vec{a} \cdot \vec{b} = 4$  のとき, なす角  $\theta$  を求めよ.

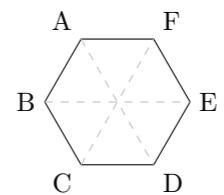
Memo / Answer

## 確認テスト (B: 標準)

## 練習 B1 (正六角形の内積)

1 辺の長さが 1 の正六角形 ABCDEF において, 次の内積を求めよ.

- (1)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AF}$
- (2)  $\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC}$
- (3)  $\overrightarrow{AD} \cdot \overrightarrow{AF}$
- (4)  $\overrightarrow{AD} \cdot \overrightarrow{BE}$



Memo / Answer

## 解答 (A: 基本)

## 練習 A1 (計算)

- (1)  $5 \times 2 \times \cos 60^\circ = 10 \times \frac{1}{2} = 5$
- (2)  $4 \times 3 \times \cos 150^\circ = 12 \times (-\frac{\sqrt{3}}{2}) = -6\sqrt{3}$
- (3) 垂直ならば内積は 0

## Memo / Answer

## A2 解答:

定義より  $\vec{a} \cdot \vec{b} = |\vec{a}| |\vec{b}| \cos \theta$ . 値を代入すると,

$$4 = 2 \times 3 \times \cos \theta$$

$$6 \cos \theta = 4 \implies \cos \theta = \frac{2}{3}$$

よって  $\cos \theta = \frac{2}{3}$

(具体的な角度が出ない場合は cos の値で答える)

## 解答 (B: 標準)

## Memo / Answer

## B1 解答:

1 辺の長さは 1. 内角は  $120^\circ$ .

$$(1) \vec{AB} \cdot \vec{AF}$$

始点は A で揃っている. なす角は  $\angle BAF = 120^\circ$ .

$$1 \times 1 \times \cos 120^\circ = 1 \cdot (-\frac{1}{2}) = -\frac{1}{2}$$

$$(2) \vec{AB} \cdot \vec{BC}$$

始点が異なる.  $\vec{AB}$  を平行移動して, 始点を B に合わせる (B から A の逆へ伸ばす).

なす角は  $180^\circ - \angle ABC = 180^\circ - 120^\circ = 60^\circ$ .

$$1 \times 1 \times \cos 60^\circ = \frac{1}{2}$$

$$(3) \vec{AD} \cdot \vec{AF}$$

AD は外接円の直径で長さ 2.  $\angle DAF = 60^\circ$ .

$$2 \times 1 \times \cos 60^\circ = 2 \cdot \frac{1}{2} = 1$$

$$(4) \vec{AD} \cdot \vec{BE}$$

$\vec{BE}$  と  $\vec{AD}$  は平行ではない...? いや, BE も対角線.

図を見ると  $\vec{AD}$  と  $\vec{BE}$  のなす角は  $60^\circ$ . 長さは共に 2.

$$2 \times 2 \times \cos 60^\circ = 4 \cdot \frac{1}{2} = 2$$